

7 月の高温・少雨の状況と今後の見通しについて

- ・ 7 月の日本の月平均気温は、統計開始（1898 年）以降の 7 月として最も高くなりました。また、東北日本海側と北陸地方では降水量が記録的に少なくなりました。
- ・ 向こう 1 か月も北日本から西日本では厳しい暑さになる見込みです。気温の予報や熱中症警戒アラート等に注意して、適切な熱中症予防行動を取っていただくようお願いいたします。降水量が少なくなっている地域では水の管理に注意してください。

【気温】

本州付近への太平洋高気圧の張り出しが強く、晴れて高温になった日が多かったこと等により、7 月の日本の月平均気温は、基準値からの偏差¹が+2.89℃となり、これまでの 7 月の記録であった 2024 年 7 月の+2.16℃を上回り、統計を開始した 1898 年以降で最も高い記録を 3 年続けて更新しました。

地域別には、7 月の月平均気温の地域平均平年差は北日本で+4.5℃、東日本で+2.7℃、西日本で+2.2℃で、いずれも統計を開始した 1946 年以降の 7 月として最も高くなりました。地点ごとに見ると、全国 153 の気象台等のうち 98 地点で月平均気温が 7 月として最も高くなったほか（10 地点のタイ記録を含む）、7 月に猛暑日を記録したアメダス地点数はのべ 4,565 地点となり、統計の比較が可能な 2010 年以降で最も多くなりました。

7 月の日本の月平均気温が高かった年

順位	年	基準値からの偏差
1	2025	+2.89℃
2	2024	+2.16℃
3	2023	+1.91℃
4	1978	+1.51℃
5	2017	+1.42℃

【海面水温】

日本近海の月平均海面水温について、7 月は平年差+1.7℃（速報値）で統計を開始した 1982 年以降の 7 月として最も高くなりました。

¹ 1991～2020 年の 30 年平均値を基準とする偏差で、1898 年以降の全ての年について、同じ基準を用いて表している。

7月の日本近海の月平均海面水温が高かった年

順位	年	平年差
1	2025	+1.7℃（速報値）
2	2024	+1.6℃
3	2001	+1.2℃
4	2023	+1.1℃
4	2022	+1.1℃

【降水】

7月の降水量は、広く北日本から西日本で少なく、平年の半分以下だった地域もありました。特に、東北日本海側と北陸地方の降水量の地域平均平年比はそれぞれ13%、8%で、統計を開始した1946年以降の7月として最も少なくなりました。

【今後の見通し】

向こう1か月も北日本から西日本にかけて平年より気温が高く、厳しい暑さになる見込みです。熱中症の危険性が高い状態が続きますので、気温の予報や熱中症警戒アラート等に注意して、適切な熱中症予防行動を取っていただくようお願いします。少雨となっている地域では、8月前半は曇りや雨の日が多くなり、平年並または平年を上回る降水が予想されますが、これまでの少雨の状態を解消するほどの降水量には至らない可能性があり、後半は再び高気圧に覆われて晴れる日が多くなる見込みですので、水の管理に注意してください。

7月の平均気温など、関連する資料につきましては別添をご覧ください。

問合せ先：

（日本の天候について）

大気海洋部気候情報課 異常気象情報センター 及川

電話：03-6758-3900（内線 4548）

（各地の観測データや統計について）

大気海洋部観測整備計画課 梶田

電話：03-6758-3900（内線 4270）

（日本近海の海面水温について）

大気海洋部環境・海洋気象課海洋気象情報室 戸川

電話：03-6758-3900（内線 4785）